

報 廣

さ か い



CONTENTS

- 特集『一筆啓上賞』から
広がるもの 2
- 年末年始のご案内 29

4つのまちが一緒になりました。
歴史や自然、地域資源など
“宝物”が増えました。
4年近くたって、私たちは
お互いを少しずつ知るようになりました。

“宝物”の中には
4つのまちが一緒になる前から
全国から注目を集める
文化がありました。
一筆啓上賞――

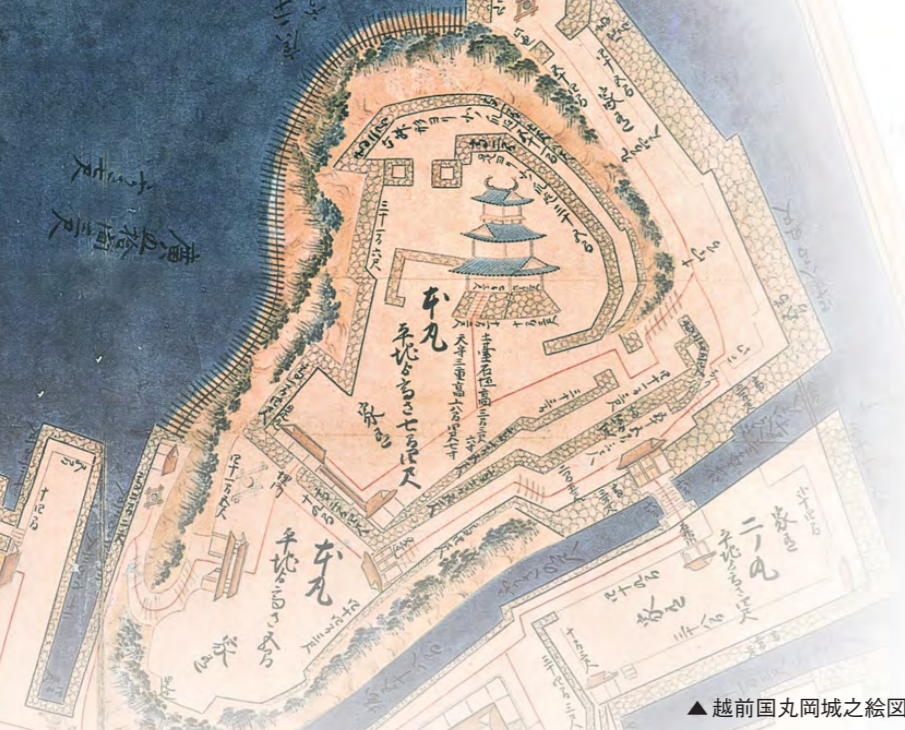
あまりにも身近なその偉業は
私たちに何を
投げ掛けているのでしょうか。

今、あらためて紹介します。
このまちに住む一人一人の
ほっこりとした幸せを願って――。

序章 唯一無二

～このまちにしかできないこと～

その原点は
丸岡城のふもとに建っている
名文を刻んだ石碑でした。
全国にその名を轟かせ、
一大ブームを巻き起こした
一筆啓上賞が誕生しました。



▲越前国丸岡城之絵図

飾らない言葉が伝える 思いやり

「一筆啓上火の用心お仙泣かす
な馬肥せ」
この手紙は、徳川家の猛将・本
多作左衛門重次が、陣中から留守
を預かる妻にあてた書簡です。簡
潔明瞭な実用通信文として、あま
りにも有名です。

「何もかも焼き尽くす火事は恐ろ
しいものだ。くれぐれも火の元に
は気を付けるように。愛しい仙千
代をしつかりと教育するように。
戦場では馬の善し悪しが命に関わ
ることもある。いつでも良い状態
の馬を補充できるように、ちゃんと
養っておくように」。

文中に書かれているお仙とは、
重次の長男仙千代、後に丸岡城主
となる本多成重のこと。勇猛果敢
で荒い気性もさることながら、ず
ば抜けた戦いぶりや「鬼作左」と
の異名をとった重次が、家族にみ
せた思いやりの一文。戦場という
明日をも知れぬ境遇の中での、大
切な人へのあふれんばかりの心情
が、この短
い言葉一つ
一つに感じ
ることがで
きます。



▲名文を刻んだ碑

文化の復権にもつな
がりました。そして、全
国に一筆啓上現象とも
いえるブームを巻き起
こし、今や全世界にま
で広がっています。

歴史遺産にまつわる 仕掛けを

本市には丸岡城をはじめ、大規
模な古墳群や新田義貞の墓所など、
文化財や史跡が数多くあります。
旧丸岡町ではすでに、それらを生
かした事業を行っていました。住
民を巻き込んで古代の古墳儀式を
再現する『越まほろば物語』、継体
大王の母で、丸岡町で生まれ育つ
たといわれる振媛をモチーフにし
た『振媛文学賞』、高校生を対象に
全国から詩を募集する『中野重治
記念文学奨励賞』などがそれで、
いずれも地域の歴史を掘り起し
た、文学を継承するものです。

石碑に刻まれた重次の名文を、
何とかまちづくりに生かせないか。
この手紙にならって、心のこもつ
た短い手紙を募集してはどうか。
こうして産声を上げたのが、日
本一短い手紙のコンクール『一筆
啓上賞』です。平成5年のことで
した。一筆啓上賞の誕生は、歴史
遺産に光を当てただけでなく、日
本で一番短い手紙文の再現と手紙

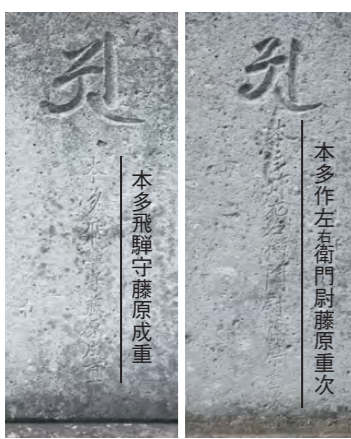
特集

『一筆啓上賞』から 広がるもの

■丸岡城
しほたかつい
柴田勝家の甥・勝豊が1576年に
築城したと伝えられ、別名『霞ヶ城』
とも称される名城。現存する城では、
日本最古の天守閣を誇る貴重な歴
史的建造物で、年間30万人を超える
観光客が訪れる。城壁に当てる
夜間照明の色を、季節によって変
えるなど、訪れるだけでなく眺めを楽
しむための取り組みも行われている。
オレンジ色にライトアップされた
丸岡城



▲閑静なたたずまいの本光院(丸岡町東組)
▲本光院にある丸岡城主・本多家歴代の墓。
奥右手から本多作左衛門重次、本多成重



第1章 一粒万倍

～一粒の粉が 万倍にも実るように～

第1回のテーマは、

「母」への手紙。

全都道府県、海外18カ国から

三万二千通もの手紙が届きました。

それは、まちを活性化し

感動の輪を広げていきました。

共感が礎に

遠い昔の思い出、親不孝に対する後悔や感謝…

35字という、わずかこれだけの文字で綴られた手紙。その一通一通には、誰にとつてもおそらく一番身近でかけがえのない存在である母への、まつすぐな思いが凝縮されています。

日ごろ言えないこと、言えず仕舞いになっていくことも、手紙なら言える。母を思う言葉はどれも正直で、優しさにあふれています。

そんな言葉の数々に自分の経験や境遇、思いを重ねて、読む人は共感します。その共感こそが、今も一筆啓上賞の礎となっています。

丸岡町文化振興事業団の大廻政成事務局長は言います。

「モノがあふれ生活が豊かになった一方で、バブルがはじけ、乾いてしまった心の潤いを時代が求め

ていたからこそ、手紙が必要だと思っ
ていました。『母』は誰もが裸で向
き合わざるを得ず、第1回目のテー
マにはこれ以外には考えられませ
んでした。

手紙文化の振興を掲げていた郵
政省（当時）の協力を得ることが
できました。全国の郵便局で事業
のPRをしていただいたこともあり、
まちの知名度が一気に上がっただ
けでなく、交流人口が急激に増え
ました」。

「母」への手紙でスタートした
一筆啓上賞は、関連事業も並行し
て実施しています。単行本やマン
ガ本の出版、映画化やアニメ化、
CDの発売なども展開。また、地
元の技術を生かして、地酒を製造
したり、越前織のしおりやブック
カバーを製作したりするなど、地
場産業の活性化にもつながりまし
た。

お母さん、もういいよ。
病院から、
お父さん連れて帰ろう。
二人とも死んだら、いや。
〈ふみ〉安野 栄子さん（千葉県）

「私、母親似でブス。」
娘が笑って言うの。
私、同じ事泣いて言ったのに。
ごめんねお母さん。
〈ふみ〉田口 信子（群馬県）

母さん私、
母さんが亡くなってから
母さんのこと
好きになったみたい
ごめんね
〈ふみ〉辻子 恵子さん（福井県）

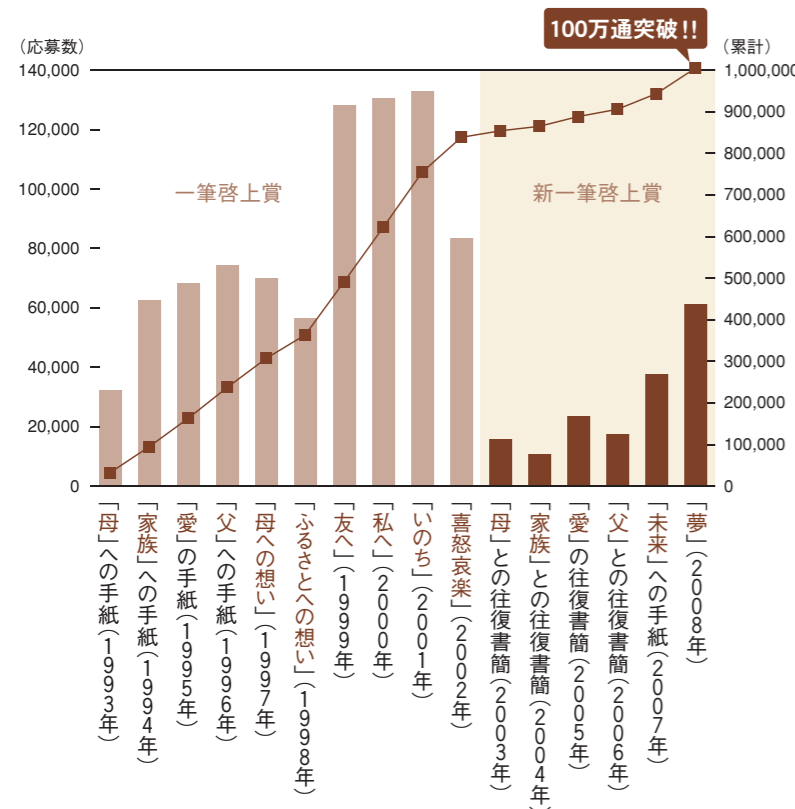
地酒 ▶
「一筆啓上」「鬼作左」
「愛」の切手 ▶
越前織り製品 ▶
(賞状・匂い袋など)

◀十朱幸代さん
主演で映画も

▼単行本は、行政が発行す
るものには異例ながら常
にベストセラーに。英訳
本なども出版されている



■これまでのあゆみ



共感から感動へ
お母さん、産んでくれてありが
とう。お母さんの子に産んでくれ
て、ありがとう。
手紙だから打ち明けられる、人
の心の奥深いところのしま込
だもの。短い言葉だからこそ、人
はまっすぐに自分の気持ちに向き
合い、飾らず素直に気持ちを表現
できるのです。
『日本一短い手紙』の一筆啓上
賞として10年、往復書簡形式を試
みるなど、『日本一小さな物語』へ
進化を遂げた新一筆啓上賞として
も7年が経過しました。3万20
00通から始まった手紙も、多く
の人に支えられながら、今や10
0万通を超えています。
一筆啓上賞は、100万人の切
なる思いを受け止め、たくさん
共感呼び起こしています。そし
て、その一つ一つの手紙が、次の
時代を生きる人の心の支えとな
る「感動のメッセージ」として、輝
き続けています。

千差万別の「笑」が集結

「笑（わらい）」をテーマに募
集していた今年の新一筆啓上賞には、
3万3843通の心のこもった手
紙（和文）が届きました。応募は
全都道府県からあり、台湾、アメ
リカ、韓国など9つの国・地域か
らも寄せられました。

また今回から、平成13年まで7
年にわたり開催した英文部門を復
活しています。オレゴン州ポート
ランド市にある当事業団「アメリ
カ支店」を窓口で募集していた結
果が、今月末までにはまとまる予
定です。

和文の方は、住友グループ広報
委員会による
予備選考を終
え、来年1月
の最終選考を
待つばかり。
どんな「笑」
が披露される
のが期待さ
れます。



▲全国から寄せられた手紙、「笑」の
仕分け作業に追われる事務局

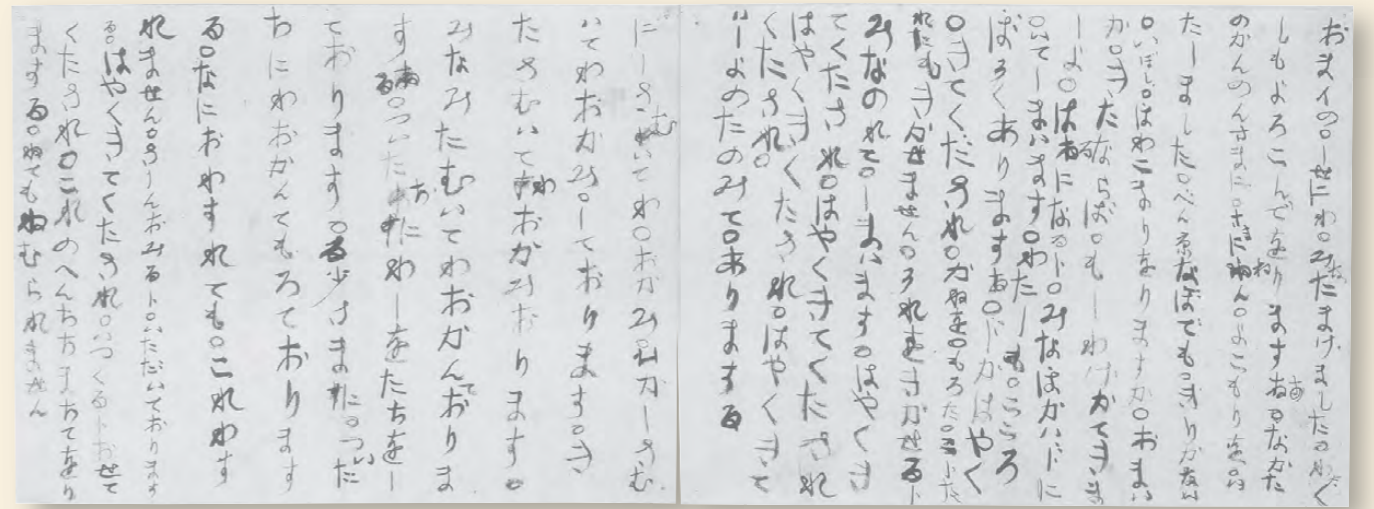
「大切なこと 人から人へ」の お手伝いを

住友家の初代・住友政友が丸岡
町出身という縁で、第2回目から
後援という形で一筆啓上賞にか
かわっています。

毎年11月に約10人のスタッフと
坂井市を訪れ、その年の全作品に
目を通して優秀作品を絞り込むと
いう作業をしています。膨大な手
紙の前に、ほんの一握りの作品を
選出するのに苦心しますが、作品
に向き合うことが楽しみでもあり
ます。今後もグループとして可能
な限り協力していきたいと考えて
います。
今年のテーマ「笑」にも、「大切
なもの」がいっぱい詰まった、心
引かれる作品がたくさんあります。
家族愛や人を思いやる気持ちなど
が伝わる作品を選びたいと思っ
ています。皆さんにお伝えできる日
が楽しみです。



▲予備選考にあたった住友
グループ広報委員会の皆さん
住友グループ広報委員会
事務局 鈴木 久和 さん



▲野口シカの自筆の手紙

お前の出世にはみんな驚きました。私も喜んでおります。中田の観音さまに毎年、夜籠りをいたしました。勉強をいくらしてもきりがありません。鳥帽子という村からの。お金の催促には困ってしまいました。お前が戻ってきたら申し訳ができました。春になるとみんな北海道に行ってしまう。私も心細くなります。どうか早く帰ってきてください。お金を送ってもらったことは誰にも聞かせません。それを聞かされると、みんな吞まれてしまいます。早く帰ってきてください。早く帰ってきてください。早く帰ってきてください。早く帰ってきてください。一生の頼みであります。西に向いては拝み、東に向いては拝んでおります。北に向いては拝んでおります。南に向いては拝んでおります。1日には塩断ちをしております。栄昌さまに1日には、拝んでもらっています。何を忘れてもこれは忘れません。写真を見ると拝んでいます。早く帰ってきてください。いつ帰れるか教えてください。この返事を待っています。寝ても眠れません。



▲野口英世(右)と母・シカ



▲昭和4年ごろの生家

母からの手紙

福島県・猪苗代湖のほとりにたずむ「野口英世記念館」。ここに一通の手紙が展示してあります。黄熱病の研究などで世界的に活躍した野口英世の母・シカが、英世にあてた手紙です。

一歳半で手に重度のやけどを負い、辛い日々を過ごした英世。この手紙には、多くの人に支えられながら医学の道を志し、はるか遠くアメリカに渡った英世への思慕がこぼれていきます。

子供の頃から奉公ばかりしていたため、文字の読み書きができなかったシカは、お盆の上に灰を載せ、指で文字を書く練習を何度もしたといわれています。

会いたい、帰ってきてほしい思いを伝えたい一心で書いた手紙。つたない文章、たどたどしい文字の一つ一つから、子を思う母の深い思いや寂しさが伝わってきます。飾らない言葉だからこそ、人の胸を打つのです。

アメリカでこの手紙を受け取った英世は、故郷に残る母を思い、涙したといわれます。そして、英世もまた、シカの手紙に真摯に応える手紙を返しています。シカの手紙が届けられてから3年後、英世とシカは再会を果たします。



共通認識がコミュニケーションを作る

万葉の昔、手紙は消息といわれていました。『相手の安否を問い、用事を達して、心の中の心配事を消し息む』意味であったといえます。日本には、平安時代にすでに貴族の間で『往来物』と呼ばれる書簡体の文章読本が作られていました。江戸時代になってから、手紙のやり取りは広く浸透したといわれています。

情報をより速く、より大量に伝えることが求められる中、携帯電話や電子メールなどの普及で、手紙の配達数は毎年億単位で減っています。

でも、さまざまな情報伝達手段がある中で、「手紙」という原始的な手段がなくならないのは、なぜでしょうか。

手紙には、テレビのような映像能力はないし、音声もありません。でも、そこに書かれた文字から受け手が内容を理解し、想像していくことで、映像や音以上に深く伝えることができます。

それは、手紙という情報伝達手段が特定された間柄でのものだから。「送り手」と「受け手」が決まっているからです。

手紙の力は、不思議です。手紙を相手から受け取ると、お互いが情報を共有でき、送り手に対して親近感が沸きます。また、送り手が受け手へ手紙を書くために費やした時間や、手間を感じ取ることが出来ます。自分あてに送られた過去の手紙を読み返すと、ふと当時の記憶を思い出すことがあります。

手紙は、読み終えた後でも捨てることをためらわせる存在感があるだけでなく、何より心に残るものと人の心をつなぐものなのです。

心のつながりは、私たちのまじにどんな効果をもたらすのでしょうか。

福井県立大学経済学部の北川太一教授は、次のように話しています。

お金に代えられない価値

平成の大合併で自治体再編などが進む中、地域にある「宝」など、あらためて自分の住むまちの良さを見直そうという動きが活発です。内向きに、お互いの良さに気付き合えば、人同士のつながり、絆が生まれ、融和を図ることが出来ます。

外向きのつながりも大切です。自分の住むまちが全国的に有名になったり、まち全体を評価されたりすることで、そこに住む人は誇りを感じることが出来ます。



福井県立大学 経済学部長 教授 北川 太一さん

今の日本は、地方と都市の格差や効率主義の風潮が強まり、人間関係の希薄さは否めません。

とはいえ坂井市は、例えば農業を個人ではなく集落単位で行うといった「お互いさま」の精神が根付いているように、支え合いや人と人とのかわりを大切にす土壌だといえます。

これは、地域の中で、昔から農業そのものが「共通の関心事」だったからです。共通の関心事とは、地域のコミュニティを形成し、双方向の対話やつながりを生み出す材料になります。

石碑にちなんだ「手紙」という地域の宝を題材にした一筆啓上賞は、内向きにも外向きにも、共通の関心事として人や心のつながりを深めることができる要素。ここに住む人の幸せの度合いや満足度を高めるだけでなく、絆を深め、まち全体に誇りをもたらすものになっています。経済効果にも波及しえますが、それはもはや、お金には代えられない価値だといえるのではないのでしょうか。



第2章 千載一遇

～千年に一度ほどの奇跡 出会いの不思議～

年々進化し続けてきた
一筆啓上賞に、好機が訪れます。

必然的といってもいいほどの
出会いが、一筆啓上賞を
さらなる高みへ
押し上げることになりました。

かまぼこ板との出会い
世界一大きな
感動物語の誕生

愛媛県西予市では、毎年『全国かまぼこ板の絵展覧会』を開催しています。6センチ×12センチという小さな板をキャンパスに、毎年たくさんの人がそれぞれの思いを描き出しています。

この物語誕生の裏には、かまぼこ板の絵展を主催する西予市立美術館「ギャラリーしろかわ」の館長、浅野幸江さんの比類ない情熱と努力がありました。

修学旅行を見送る私に
「ごめんな」…とうつぶした母さん
あの時 僕平気…だったんだよ。

- (ふみ) 横川 民蔵(石川県)
「母」への手紙入賞作品
- (え) 久保 明日香(愛媛県)
「なつやすみ」第12回応募作品



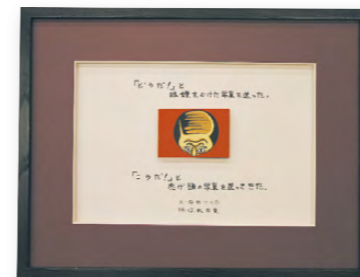
産んでみて
命の不思議を初めて知った
育ててみて
命のすごさが初めてわかった

- (ふみ) 吉田 庸子さん(福島県)
「いのち」入賞作品
- (え) 西條 多紀子さん(兵庫県)
「あなたを守ります」第12回入賞作品



お母さん
ぼくずっとがまんしてたのに
お母さんの顔見たらないちゃった

- (ふみ) 斎藤 佑規さん(愛知県)
「家族」への手紙入賞作品
- (え) 三上 登司さん
「愛し児カルメン」第9回応募作品



「どうだ!」と
眼鏡をかけた写真を送った
「こうだ!」と
禿げ頭の写真を送ってきた

- (ふみ) 原田 つとむさん(東京都)
「友」への手紙入賞作品
- (え) 塩飽 英寛さん(岡山県)
「毛なみ」第9回入賞作品



他人なら
オモロイおっちゃんやったのに、
私の父であったことが
不幸でした。

- (ふみ) 有田 直美さん(大阪府)
「父」への手紙応募作品
- (え) 樽野 順一さん(兵庫県)
「どじょう堀い安来節」第10回入賞作品



◀大盛況だった京都文化博物館での「日本一短い手紙」と「かまぼこ板の絵」の物語 コラボ展(平成19年9月)

絵は心の手紙

これらのコラボ作品をすべて創り上げたのが、浅野館長です。

企画が生まれた平成18年当時、一筆啓上賞には90万通を超える作品があり、テーマごとに入賞作品をつづった本が14冊も出版されていました。また、かまぼこ板の絵展にも50万枚もの作品が寄せられていました。作者の年齢も性別も応募してきた年もテーマも全く違う作品同士。どの手紙にどの絵を選んで合わせれば、見る人に納得してもらえるか。浅野館長は「母」「家族」など7冊分の手紙をほとんど記憶し、自分の目に焼きつけているかまぼこ板の絵にイメージを合わせて組んでいくという、気が遠くなるような作業をこなしました。

組み合わせさせてきた作品は、まさに「一つの物語」。言葉の裏にある意味や、絵に隠されたストーリーなど、見る人の想像力をかき立てます。

初めてのコラボ展は、京都文化博物館(京都市)で開催。浅野館長渾身の成果を150点展示し、大好評を収めました。以降、今日までに愛媛県、福島県、長野県など全国10会場で3万5000人を動員。コラボ作品の数も増え、足を運んで見てくださる人に大きな感動を送り続けています。

手紙に込められた心、絵に込められた心、それらの背景を全部受け止めた上で新しいものに組み合わせせていく心。

こんな、掛け値ない心の通い合いが、見る人の心に強く響くのです。

愛媛県西予市

愛媛県南部に位置する、自然豊かなまち。平成16年4月1日に五町が合併して誕生した。海拔0メートルから1400メートルの地理的に恵まれた西予市は、総面積が514.79平方キロメートル。そのうち75%を山林が占め、特に城川町では林業が盛ん。



かまぼこ板の絵展覧会とは

このまちで育った原木が、木製品としての役目を終え、絵を運んでこのまちに還る。「全国かまぼこ板の絵展覧会」の始まりは、愛媛県南予町初の町立美術館として平成5年に建設された「ギャラリーしろかわ」に、洋画家・折笠勝之氏を講演に招いたのがきっかけ。折笠氏が「絵はいつでも誰でも描ける」と、かまぼこ板に描いた油絵を城川町に残していったのをヒントに、2年後の平成7年にこの展覧会はスタートした。テーマや画法は自由。使用する板は1枚もしくは最高100枚までを組み合わせることが可能。



▲ギャラリーしろかわ



あなたに出会ったこと
忘れない

かまぼこ板の絵展には、毎年1万点を超える応募があります。毎回、全応募者にスタッフが自筆で礼状を書くなど、心の通い合いを第一にしています。

住む人にとってまちがどうあるべきかを行政が考えるように、私たちは、作品をおしてその人の生き方を支えられる存在でありたいと思っています。

手紙にも絵にも、すべてに心があります。作品を見たり手にしたりすることで伝わる心が、また多くの人の心の支えになると思います。生きていてよかった。住んでいてよかった。応募してくださった人、見てくださった人に、喜びと元気を届け続けたいと思っています。



ギャラリーしろかわ
館長 浅野 幸江さん
(え) 沼田 博美さん(愛媛県)
「夢作り人」第14回応募作品



縁は異なるもの
坂井市三国町池上の近藤さん
が西予市の池上家へ



▲披露宴での佳代子さん(右)



◀披露宴には、
西予市の三好幹二市長も
祝福にかけつけた

今年10月、本市から一人の女性が西予市へ嫁ぎました。

彼女は、近藤(旧姓) 佳代子さん。三国町池上出身の近藤さんは、学生時代を過ごした東京で、西予市出身の池上直輝さんと出会いました。

「西予市は、まち全体が陽気で明るい印象です。生まれ育った三国を思わせる自然があり、ほっとします。一筆啓上賞とかまぼこ板の絵のコラボの話聞いたときは本当に嬉しくて、縁の不思議を感じました。ギャラリーしろかわにも足を運んで作品を鑑賞したんです。お互いの良さを高めながらこれからもずっと続いてほしいなと思います」と、佳代子さんは話していました。

第3章 一路順風

～ 追い風を受け 力強くひたすら前へ～

手紙と絵の融合作品が
生み出すメッセージは、
人の心に深く染み入ります。
作品に秘められた
さまざまな可能性が、私たちに
新たな希望を与えてくれます。



■ 東尋坊
波の侵食で荒々しく削られた岩肌や、輝石安山岩の柱状節理で知られ、年間120万人が訪れる。自然が織り成す美しく壮大な景観は、四季折々さまざまな表情を見せてくれる。
◀ 国の天然記念物にも指定されている東尋坊



◀ 福井大学松岡キャンパスでのコラボ展。国内でも例を見ない「文学と医学の研究」が進む可能性も

見る人に癒しと希望を コラボ作品を 東尋坊と丸岡城へ

本市きつての観光地・東尋坊と丸岡城に、今年度からコラボ作品を「展示」しています。本市から発信している文化事業を観光客にPRすると同時に、家族愛や夫婦愛、命の大切さをテーマにした作品が、訪れる人の心を癒しています。

作品が人に与える効果を 福井大学と共同研究

コラボ作品を見て「癒される」とは。手紙と絵の融合が、人の心理にどのような影響を与えているのか。
これまでで開催してきたコラボ展では、来場者に対しアンケートを行ってきました。その中で、鑑賞して「癒された」「感動した」との回答がとても多く寄せられました。
また、作品を前に涙する人もたくさん見られました。ある会場では、自力で歩けないほど重度のうつ病者が作品を見て泣き笑いを繰り返し、歩けるまでに回復したという例もあり、作品が人の心の強



▲ 子供や学生など、比較的若い世代が訪れた福井大学文京キャンパスでのコラボ展

い影響力があることが、誰の目にも実感できるようになってきたのです。
そこで、実際にコラボ作品を見ることで、人の心理がどう変わるかなどを医学的に検証する試みを、福井大学の協力で始めました。
今年度の取り組みとして、10月に約1カ月かけて、同大学の文京キャンパス（教育地域学部など）と松岡キャンパス（医学部）でコラボ展を開催しました。会場では、学生と医学部付属病院の患者に鑑賞してもらい、質問票や聞き取りなどで、作品を見る前後と後を比較、心がどのように変化したかを調査しました。来年度以降も、鑑賞者の血圧や脳波などを測定し、数年かけて経過をみる予定です。



▲ (上) 陶板に焼き付けた作品は、丸岡城にも設置。足をとめて見入る人も多い
(下左) 東尋坊には、自然に目線が行く高さで設置
(下右) 丸岡城ふもとの霞ヶ城公園には、優しい色調のパネルが



▲ 除幕式は、8月6日に両会場で開催



▲ 東尋坊会場で作品について語り合う別宮静・西予市副市長と坂本市長

心の観光地に

一筆啓上賞とかまぼこ板の絵のコラボ作品を生かしたまちづくりについて、坂本市長は次のように話しています。
「残念ながら東尋坊では、毎年十数人の人が自らの命を絶っています。この美しい場所ですら、悲しい出来事を増やしたくありません。苦しみを抱えてこの場所を訪れた人に、心の安らぎや生きる喜びを持ってもらいたい。コラボ作品なら、人々に希望を与えられるという確信から、作品を設置することを思いつきました。西予市の三好市長も賛同してくださり、とても嬉しく思っています。コラボ作品が、すべての人の命の糧になってくれるはず。東尋坊や丸岡城が「心の観光地」になってくれると期待しています」。



例を見ない調査に期待



福井大学 地域貢献推進センター長 医学部教授 田邊 美智子さん

作品の持つ癒しの効果を医学的に検証することになっています。コラボ展の期間中、多くの人が作品を見て訪れました。会場を出るときにはとても明るい表情になっている人、涙で目を真っ赤にしている人など、自分の境遇に作品を重ねて、それぞれ思いを抱いているのがよく分かりました。

今後数年間かけて、展示会形式ではなく、ケースの違う複数の患者さんに作品を身近に置いてもらうなどして観察を続ける予定です。心身の変化を医学的データとして立証できるまで踏み込めたらと思っています。大学としても将来的に、心のケアなど医療の中に取り込むことができるのではと期待しているところ。です。

富み美しきふるさとに心を重ね 時空を超えた史をつなごう

一筆啓上賞は、「母」をテーマに衝撃的に登場し、一躍脚光を浴びました。歴史や文化に着目したまちづくりの確かな成功事例として、賞そのものの価値が全国から評価されています。

また、この賞が生まれたまちに行ってみると、その風土を感じたといと、このまちを訪れる人が増えました。作品同士の融合や医学的効果の検証など、新たな可能性も広がり始めました。作品が心身のケアに有効活用されるなら、こんなに素晴らしいことはありません。

一方で、一筆啓上賞は手紙をとおして、私たちのまちをあらためて見直すきっかけを与えてくれました。

歴史や人生の折々に交わした手紙は、時を超え、当時の息吹を伝える貴重な証人となってくれます。そして何より、手紙は「送り手」と「受け手」、人と人を結びつけてくれるものです。

市政を運営する上で、一番大切だと考えていることについて、坂本市長は次のように話しています。「協働のまちづくりが進んでいます。地域の中で次代を担う子供たちが笑顔で暮らすこと、そして、市民全員の心が安らぎで満たされることが一番大切だと思っています。」

ものの豊かさや便利さと引き換えに、今の日本の社会は、人と人のつながりが薄らいだものになっている気がします。また、厳しい

社会情勢の中で、人を思いやったり礼を尽くしたりという、人として一番大切な「心」がなおざりになってしまっていると感じます。一筆啓上賞の作品は、私たちが忘れかけている「心」を、思い出させてくれます。作品から感じられる思いやりや、支え合っていることへの感謝の気持ちを、市民の皆さんにも忘れないでいてほしいのです。

4つだったまちは1つになり、着実にその歴史を刻み続けています。このまちに住む人もお互いに理解を深め合い、心のつながりが広がっています。坂井市は、皆さんのふるさとです。人のつながり、心の通じ合い。

日本一短い手紙が私たちに投げかけたものは、私たちが暮らし、学び、働き、交流する地域社会づくりに不可欠な要素にほかなりません。手紙が心や温もりを伝えるように、私たちが絆を深め、心豊かに暮らすことは、次代を生きる子供たちに笑顔をもたらします。思いやりや優しさのある社会を築くことが、未来への確かな「手紙」になるのです。

石碑に刻まれた名文から発した「心を伝える文化」を、このまちの風土として大切に、そして誇りを持って受け継いでいきたいと思います。まちは人、人はまち。まちの未来の輝きは、私たちの「心」次第なのです。

坂井市を空から眺めると

「心」の字の形をしています。

ここには人間の一番大事なものがあります。

坂井市は「心」が選んでゆくところ。

心をつなごう 深め合おう

坂井市は「心」のふるさとだから。

特集『一筆啓上賞』から広がるもの

【資料提供】丸岡町文化振興事業団／国立公文書館／野口英世記念館／西予市立美術館「ギャラリーしらかわ」／近藤昌俊さん（三国町池上）

【参考】日本古典文学大辞典／西予市市勢要覧／坂井市市勢要覧

彩り豊かなふるさとを
環境都市さかいを宣言

11月8日(日)

市環境基本計画を推進しようと、市環境推進大会をハートピア春江で開きました。大会では、倉圭亮さんと水上柚香さんが、ジュニア環境サポーターの活動から感じた自然環境への思いを綴った作文を発表。引き続き、参加者全員で「環境都市さかい」を宣言しました。環境問題に積極的に取り組んでいる俳優の中村敦夫さんの講演会なども行いました。



▲故郷の自然の美しさなどを詩に込めた歌を披露するヒナタカコさん



▲作文を発表する倉さん



▲大会には約500人が参加



▲市長の発声に続いて、参加者全員で「環境都市さかい」を宣言

冬の味覚が一堂に
三国温泉カニまつりを開催

11月14日(土)
15日(日)

三国温泉カニまつりが三国サンセットビーチ駐車場で開催されました。カニの解禁を待ちわびた家族連れや観光客が県内外から多数来場。所狭しと並べられた“越前かに”やセイコガニ、甘エビなど、新鮮な魚介類を買い求める姿にぎわいをみせていました。また、恒例のガサエビ鍋の無料配布も行われ、長蛇の列ができるなど人気を集めていました。



▲テント内に広がる無数のカニに、訪れた買い物客も思わず目移り



▲坂本市長に提案書を手渡す吉川さん

もっと“みんなに優しい”まちに
児童が改善点を提案

11月5日(木)

自分たちの住むまちをもっとよくしようと、東十郷小学校の6年生が市長に提案書を提出しました。この提案書は、児童が市役所や公民館などの公共施設を見学し、気づいた点や改善点をまとめたもの。学級委員長の吉川瑞記さんが市役所を訪れ、点字案内板の設置や障がい者専用駐車場の整備などについて「どうか検討してください」と要望しました。

50年ぶりの恩師の授業
休校を前に思い出を刻む

11月2日(月)

丸岡中学校竹田分校の昭和38年度卒業生の同窓会が、同校で開かれました。来年3月末で竹田小学校・同校が休校になることを受け、感謝の気持ちを表そうと、当卒業生で企画。中学1年時の担任、小原淳子さん(丸岡町石城戸)が源氏物語をテーマに特別授業を行いました。生徒たちは終始笑顔で、熱心に耳を傾けていました。



◀歯切れよく授業を進める小原先生

▼同窓生45人中18人が出席



芸術文化で融和を
市民文化祭を開催

10月31日(土)~11月4日(水)

坂井市民文化祭が、坂井体育館などで盛大に開催されました。11月1日(日)に行われた総合開会式では、市文化協会各支部の代表が能楽、合唱、フラダンス、創作舞踊を披露し、訪れた約200人の観衆を魅了していました。今年は、各支部の交流を図ろうとそれぞれの開催期間をずらすなど、さらなる融和が図られた市民文化祭となりました。



▲丸岡高吟会による能楽



▲春江踊楽会による歌謡創作舞踊



▲坂井コーラスによる混声合唱



▲フクイ・アロハレイによるフラダンス

善 行者や子ども会を表彰 推進大会を開催 11月28日(土)

市青少年健全育成推進大会が霞の郷で行われ、市民約160人が出席しました。式では、青少年育成に尽力する指導者やボランティア団体、子ども会壁新聞コンクール表彰などが行われました。また、受賞した子ども会による壁新聞取り組み事例発表も行われ、工夫や苦労した点を思い返しながら、自分たちの製作した壁新聞について紹介していました。



▲記事の内容一つ一つについて解説する、木部新保子ども会の児童



▲「身体を動かすって楽しい！」笑顔でエアロビクスを踊る出場者

丸 岡で体操の祭典 多彩な演技を披露 11月23日(月・祝)

丸岡体育館で「2009丸岡町体操祭」が開催され、市内の15団体・約280人が日ごろの練習の成果を披露しました。リズム体操や新体操のほか、迫力のある少林寺拳法の演武やヨサコイ、ブレイクダンス、フラダンスといった種目が登場。体操のジャンルにとらわれない、身体を動かす多種多様な演技種目の連続に、会場は大いに盛り上がっていました。



▲「ハート」をモチーフにしたまちづくり協議会のキャラクターも登場

児 童館でイルミネーション 江留上まち協が設置 11月28日(土)

春江児童館にイルミネーションが施され、住民の目を楽しませています。地域住民が楽しめ、また、子供たちが集えるようにと、地域の拠点である児童館に江留上まちづくり協議会が今年初めて設置したもの。高さ13mの屋根から約2000個のLED(発光ダイオード)が帯をなし、幻想的な雰囲気を出しています。電飾は、1月中旬まで楽しめます。



▲ドッジビーの試合を楽しむ選手たち

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ(<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>)からもご覧いただけます。ホームページでは“ホット”な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。

母 校に響く二胡の調べ 甘美な音色にうっとり 11月16日(月)

丸岡町出身の二胡奏者、野沢香苗さんによる「ふるさとコンサート」が、同町の母校など4校で開催されました。うち鳴鹿小学校では、児童150人を前に二胡の哀愁ある深い音色を披露したほか、一緒に校歌を合唱。また、20歳を過ぎて二胡を始めた自身の経験から「夢をあきらめずにチャレンジしてほしい」と、後輩にエールを送っていました。



▲児童たちの輪に入り、二胡を奏でる野沢さん。丸岡中学校、丸岡南中学校、丸岡高校でも演奏

出 会いや支え合いに感謝し 思いやりのある社会を 11月22日(日)

男女共同参画イベントを、ハートピア春江で開きました。会場を訪れた約120人が、フルーツとベースの夫婦ユニットESPÉRANZAの心休まる音楽を楽しみました。演奏の合間に、難病を抱える奥田良子さんが、自身の体験談を披露。病気で挫折から社会復帰までを振り返り、人と人との出会いや支え合いのありがたさなどを訴えていました。



▲熱心に聞き入る来場者



▲自らの体験を語る奥田さん



▲子供とは思えないしぐさや表情で、見るものを引きつけた子供歌舞伎(公演の様子は、1月1日から31日まで坂井チャンネル29で放送)

男 女の悲恋劇を情感たっぷりと 大人顔負けの演技を披露 11月14日(土)

まるおか子供歌舞伎第9回公演が、磯部小学校旧体育館で行われました。公演は昼夜2回に分けて行われ、約1500人が来場。今回の歌舞伎演目は旗本と遊女の悲恋を描いた大正時代の名作「鳥辺山心中」で、せりふの抑揚のある言い回しや、情感たっぷりのしぐさで観衆を魅了。堂々と演じきった豆役者達に、会場からは万雷の拍手が送られていました。



▲「収量は例年より少ないものの品質は上等」という新そばを打つ体験者

そ ば通らが丸岡産新そば堪能 味よし 香りもよし 11月21日(土)

「第10回そばの里丸岡 新そばまつり」が霞の郷で開かれ、新そばを待ちわびた人たちににぎわいました。丸岡産そば粉を使用したおろしそばが用意され、市内外から訪れた“そば通”が、独特の風味などを堪能しました。まるおか蕎麦愛好会の指導でそば打ち体験会も開催。参加者は“名人”に指導を仰ぎながらおいしそうなおそばに仕上げっていました。

市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。

子供のインフルエンザ予防接種
市外での接種にも助成

● 問い合わせ 健康長寿課 ☎50-3067

インフルエンザワクチンについて、市外で接種した場合にも費用の一部を助成します。市外の医療機関窓口でいったん全額支払っていたら、後日、市窓口での手続きが必要となります。

● 注意ください
・ 予防接種助成通知書が未使用の場合に限ります。
・ 市窓口での手続きに必要となります。

申請窓口
・ 三国総合支所福祉課、丸岡保健センター、春江保健センター、坂井健康センター
※詳しくは健康長寿課まで

市民の新たな憩いの場
「四季の森」が完成

● 問い合わせ 都市計画課 ☎50-3050

丸岡城の東側、丸岡町霞町3丁目を整備を進めていた公園「四季の森」が完成し、11月18日から供用を開始しました。

「桜の名所」をより長く
ソメイヨシノよりも開花の遅いサトザクラ類を植栽。4月上旬には丸岡城、下旬には当公園で、長い期間桜を鑑賞することができます。そのほか、年間を通じて花や緑、紅葉を楽しんでいただけるよう、四季を感じさせるような木々も数多く植栽しました。

安全・安心面にも配慮
園内には段差が少なくなっており、足の不自由な人でも気軽に利用できます。遊具広場は見通しがよく人目につきやすい場所に配置されているほか、転倒時の衝撃をやわらげるゴム素材を敷くなど、安全に安心して遊べるつくりになっています。

ほかにも、多目的芝生広場や散策用の園路、休憩スペースなどを整備。新たな市民憩いの場として、ぜひご活用ください。

暮らしに役立つ情報を一冊に
「わがまち便利帳」が完成

● 問い合わせ 秘書広報課 ☎50-3012

『わがまち便利帳』は、誕生後初めて製作するもので、市民の皆さんに行政情報や広告掲載情報を併せてご覧いただくことで、行政効率の向上と地域経済の活性化に結び付けたいと考えています。

内容は、市役所の各種手続きのほか、市内の各施設、観光名所、イベント、歴史、自然などを掲載。市民の皆さんに楽しんで読んでいただけるよう工夫しています。また、広告もそのページ

の情報が関連させるように配置していますので、ぜひご活用ください。

お手元に届かない場合は、お手数ですが各総合支所市民課窓口へお問い合わせください。

なお、内容は平成21年11月8日現在のものであり、以後、法改正や組織変更などによって内容が変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



- 【主な内容】
- ・ 市のプロフィール
 - ・ 市役所庁舎、公共施設案内
 - ・ コミュニティバス情報
 - ・ おでかけマップ
 - ・ 行政情報全般（届出、証明、市税、ごみ、水道、福祉など）

暮らしに役立つ情報を一冊に集約した冊子『わがまち便利帳』がこのほど完成し、自治会を通じて各世帯に配布します。

国民健康保険に加入の40歳～75歳の皆さんへ
特定健診実施医療機関を追加しました

● 問い合わせ 保険年金課 ☎50-3031

■ 特定健診実施医療機関

荒井医院 (☎82-7703)	東外科医院 (☎66-2228)
大嶋医院 (☎82-6677)	荒川整形外科・胃腸科 (☎66-0012)
こしの医院 (☎81-6655)	伊藤クリニック (☎66-1251)
真田クリニック (☎82-0333)	キムクリニック (☎67-3000)
西野医院 (☎82-1392)	斉藤医院 (☎66-0053)
藤井医院 (☎82-1113)	つばさ内科クリニック (☎63-5232)
宮崎病院 (☎82-1002)	中瀬整形外科医院 (☎67-3777)
向坂内科医院 (☎81-2255)	ヒガシ内科病院 (☎66-1054)
鷺田医院 (☎82-1230)	福岡内科クリニック (☎67-7111)
岩井病院附属坂井診療所 (☎67-0801)	藤田神経内科病院 (☎67-1120)
ともだクリニック (☎66-6161)	大野内科消化器科医院 (☎51-8170)
野村医院 (☎72-1839)	春日レディースクリニック (☎51-6080)
森瀬クリニック (☎72-3737)	豊田内科医院 (☎51-8181)
	春江病院 (☎51-0029)

12 月1日から、特定健診を受診できる医療機関が追加になりました。

【追加医療機関】
つばさ内科クリニック (丸岡町南横地4-46-1) ☎63-5232

特定健診は、生活習慣病予防のための大切な健診です。今年度また特定健診・人間ドックを受けていない人は、個別医療機関（左表）

※市が実施する、今年度の集団検診は11月で終了しました
※国民健康保険以外の人は、自身が加入している保険者にお問い合わせください

健康状態を確認してください。受診の際には、事前に医療機関に電話で予約を行ってください。

健診期間 2月27日(土)まで

FROM 市長

三国港駅全体を大正時代風に
過払い金の返還請求訴訟も

市長定例記者会見が11月10日(火)と11月27日(金)に、市多目的研修集会施設で行われ、坂本市長は次のように述べました。

地域活性化の一環として三国港駅の駅舎を改修 国土交通省の「みなと振興交付金事業」を活用し、えちぜん鉄道三国港駅の改修を行います。瓦や建具などを極力再利用して、大正2年に設置された現駅舎を建築当時の姿に復元、保存していきます。また、2階立ての情報提供施設や宿舍を新たに建設するほか、大正ロマン風のレンガ調コンクリートや外灯を配置することで、駅舎自体を観光施設として整備していきます。



▲改修後の完成予想図

12月議会では、市長から市民の皆さんへ市政についてのメッセージをご紹介します。また、定例記者会見の様子は市のホームページからご覧いただけます。

過払い金差し押さえで消費者金融を提訴へ 納税に充てるため、滞納者が利息制限法の上限金利を超えて支払った過払い金を36万4712円の返還請求権を差し押さえ、消費者金融に支払いを求め訴訟を起こすことを決定しました。県内の自治体では初の試みです。

12月議会で議決後、福井簡易裁判所に訴状を提出する予定です。



みんなで「エコプロ」になろう④

行動計画④
気づき、学び、行動を
 環境問題を意識して
 水切りネットの使用や分別回収など、日常生活の中でできることには多くの市民の皆さんが取り組んでいます。
 しかし、公共交通機関の使用や、自然保護などのボランティア活動といった取り組み

興味を持って、行動を
 市や各環境保全団体、まちづくり協議会などでは、市民に対して自然観察会や環境学習会などを積極的に開催しています。
 一人一人の環境に対する理解の深化や問題解決能力を高



▲エコネイチャー・彩みくによる環境フォーラム

環境問題に取り組む足掛かりとして、例えばこんなことを心掛けてみましょう。
 ●積極的に自然観察会や環境学習会などに参加する
 ●ごみのポイ捨てをしない
 ●犬のふんを後始末する
 ●テレビや新聞、広報紙などの環境に関する記事に目を通す
 環境を気遣い、いつもの行動をほんのちよつと見直すことから始めてみましょう。

●問い合わせ 環境衛生課 ☎50-3032

**青い空と豊かな自然を
 未来の坂井市へつなぐために
 少しずつE.C.O.と始めよう**

**第4回市子ども会壁新聞コンクール
 結果をお知らせします**

●問い合わせ 生涯学習課 ☎50-3162

市 子ども会壁新聞コンクールの審査が行われ、応募総数143点の中から入選15点、佳作15点、努力賞20点が選ばれました。
 また、11月28日(土)に行われた青少年健全育成推進大会の席上では、同賞の表彰式と第33回県子ども会壁新聞コンクールの伝達表彰が行われました。入選作品は以下のとおり。

■第4回市子ども会壁新聞コンクール 入選作品

作品名	子ども会名
木部新BOYS&GIRLSNEWS	木部新保子ども会(坂井町)
汐見発見新聞	汐見子ども会(三国町)
ひまわり新聞	大畑子ども会(坂井町)
覚善Kids ~ふるさと号~	覚善子ども会(三国町)
Happy Summer	今井子ども会(坂井町)
HAMAJIサマーキッズ	浜地子ども会(三国町)
安島元気っ子新聞	安島子ども会(三国町)
しもくめワクワクNEWS	下久米田子ども会(丸岡町)
折戸Nori×2Newsパート3	折戸子ども会(三国町)
エッセル新聞	喜宝子ども会(三国町)
川崎キッズ新聞	川崎子ども会(三国町)
浜滝スマイル	浜滝子ども会(三国町)
サマー東荒井しんぶん	東荒井子ども会(坂井町)
堀水新聞	堀水子ども会(丸岡町)
玉井新聞	玉井子ども会(三国町)

**第33回県子ども会壁新聞コンクール
 特別賞入賞作品**

【県子連会長賞】 【福井テレビ社長賞】 【福井新聞社長賞】



▲覚善Kids ~ふるさと号~ ▲HAMAJI サマーキッズ ▲汐見発見新聞



**市一般廃棄物処理基本計画(案)
 パブリックコメントを募集**

●問い合わせ 環境衛生課 ☎50-3032

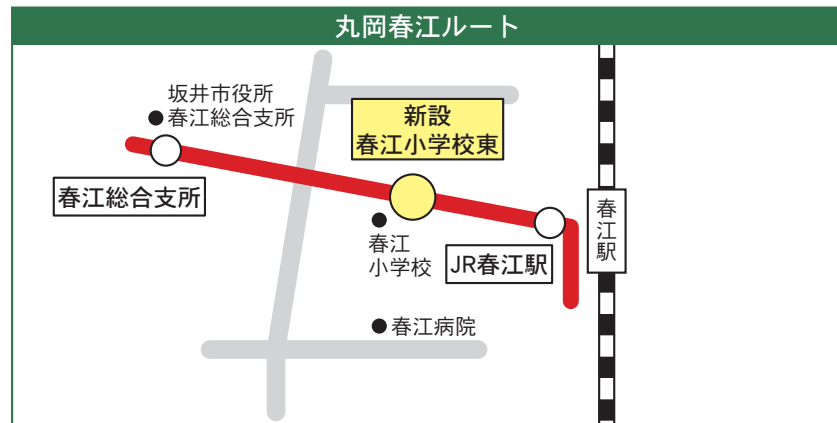
市 廃棄物減量等推進審議会では、地域における循環型社会の形成に向けて、協議を重ねてきました。先般、ごみ処理の基本計画となる「坂井市一般廃棄物処理基本計画(案)」を作成、市長へご答申されました。
 今回、その基本計画(案)について、市民の皆さんから内容に関する意見を募集します。
 いただいた意見をとりまとめ、市の考え方を付して最終的に市一般廃棄物処理基本計画を決定。意見と計画を併せてホームページ上で公表します(22年1月を予定)。住所、氏名は公表しません。
 また、ごみ処理の具体的な実施については、最終決定された計画に基づいて行うとともに、毎年度の達成状況を公表します。

募集内容
 市一般廃棄物処理基本計画(案)に対する意見
提出先
 環境衛生課
 〒919-0592
 坂井市坂井町下新庄1-1
 ☎68-0324
 ✉kankyou@city.fukui.sakajie.jp
提出方法
 任意の書面で、郵送、電子メール、持参のいずれかで提出
提出の際の留意事項
 住所、氏名を必ず記入してください。記入がない場合、意見として取り扱えない場合があります
意見提出できる人
 市内に在住または通勤、通学している人
募集締切
 12月29日(火)必着
 ※持参の場合は28日(月)まで
閲覧方法
 環境衛生課各総合支所
 市民課で閲覧(平日8時30分~17時30分。市ホームページからも閲覧可)

**市コミュニティバス「ぐるっと坂井」
 バス停留所を新たに設置**

●問い合わせ 企画課 ☎50-3013

追加停留所
 「丸岡春江ルート」の春江総合支所とJR春江駅の間に「春江小学校東」を設置
 ※停留所の追加のみで、ルートの変更やその他の乗降時間に変更はありません



	停留所名	1便	2便	3便	4便	5便	6便
右回り	春江総合支所	6:57	8:42	11:42	14:32	17:13	18:48
	春江小学校東	6:58	8:43	11:43	14:33	17:14	18:49
	JR春江駅	7:01	8:45	11:45	14:35	17:17	18:52
左回り	JR春江駅	7:38	9:17	12:17	15:07	17:46	19:53
	春江小学校東	7:41	9:19	12:19	15:09	17:49	19:56
	春江総合支所	7:42	9:20	12:20	15:10	17:50	19:57

以前から要望のあった、春江病院に近い場所に停留所を設け、利便性の向上を図りました。
 今後とも、「ぐるっと坂井」をぜひご利用ください。

12

月1日から、市コミュニティバス「ぐるっと坂井」に新たにバス停留所を追加しました。

募集

invite information

読書感想画展
作品を募集

本を読んで、どきどきしたこと、わくわくしたことを絵で表現してみませんか。四つ切程度の画用紙に、読んだ本の印象的な場面を描いてご応募ください。
募集期間 12月27日(日)まで
対象 幼児から中学生まで
画材 絵の具、クレヨン、鉛筆、フェルトペンなど
展示場所 ハートピア春江 展示交流ホール
展示期間 1月21日(木)～24日(日)
問はるえ図書館 ☎51-8810

22年度 県立盲学校
幼児・生徒を募集

学 科 ・ 幼稚部(満3歳から5歳まで)
・ 高等部本科普通科・本科保健医療科(中学校卒業または卒業見込みの人)
・ 専攻科理療科(高校卒業または卒業見込みの人)
資 格 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の人。視力以外の視機能障がいがある高度な人のうち、拡大鏡などを使用しても通常の文字や図形を認識することができない、または著しく困難な人
出願期間 1月18日(月)～28日(木) 9:00～16:00 ※土日を除く
選考日 2月12日(金)
問 福井県立盲学校 ☎54-5280

開催

event information

休日納税相談・
多重債務相談を実施

平日では忙しくて納付や相談に行けない人を対象に、臨時に休日納税相談窓口を開設します。お気軽にご利用ください。当日は電話での相談、お問い合わせも受け付けます。
と き 12月20日(日) 10:00～18:00
ところ 市役所2階 納税課
対象税目 固定資産税、市県民税、国民健康保険税

■多重債務相談窓口を同時開設
当日は、市消費者センターの専門相談員による多重債務相談窓口を同時に開設します。
多重債務が原因で納税が困難になっている人は、この機会にぜひご相談ください。
問 納税課 ☎50-3024

ふくいジョブカフェ出張相談

仕事を探す前に、自分がどんな職業に向いているのか、あらためて考えてみませんか。
専門のキャリアアドバイザーが、相談に応じます。
学生はもちろん、あらゆる人の仕事に関するいろいろな相談ができます。
と き 1月21日(木) 13:00～17:00
ところ 高棕公民館
対象 おおむね15歳～39歳で仕事の悩みをもつ人
申込方法 開催日の3日前までに下記へ申し込み
問 商工課 ☎50-3153 ☎68-0440
✉ syoukou@city.fukui-sakai.lg.jp

健康サポーターのための
健康講座を開催します

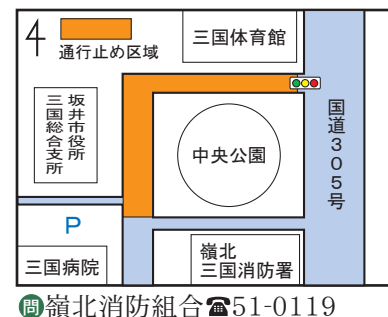
「健康サポーター」は、市民の健康づくりのために活動しているボランティア団体です。
今年も、健康サポーターになるための講座を開催します。
日程・内容
「いきいきシニア期をむかえるための健康づくり」
1回目 1月24日(日) 身体編
2回目 2月 7日(日) 運動編
3回目 2月21日(日) 食事編
4回目 3月 7日(日) 活動編
※1回目は13:00～15:00
2回目以降10:00～11:30
※日程、内容、会場の変更の場合あり
ところ 坂井健康センター
定 員 50人
参加費 無料
申込方法 電話で下記まで
申込締切 12月25日(金)
詳細は後日、申込者に案内します。講習を受けたことで健康サポーターになることを義務付けるものではありません。
問 健康長寿課 ☎50-3040

無料 楽楽介護塾
「家でもできる簡単リハビリ」

リハビリを理解し、誰でも楽しくできるリハビリ体操とレクリエーションを体験します。
転倒予防や頭の働きを活発にする介護予防法を学びましょう。
と き 1月14日(木) 10:30～12:00
ところ 坂井老人センター
申込方法 電話で下記まで(送迎あり)
申込締切 1月7日(木)
問 市社会福祉協議会 ☎68-5060

消防出初式を開催します

屋外式典では、消防職員・団員800人、車両60台による行列行進や一斉放水、太鼓隊の演奏、越前三國鳶隊による勇壮な演技などが披露されます。ぜひご覧ください。
と き 1月9日(土) 屋内式典 9:30～10:30 屋外式典10:30～11:45
ところ 三国体育館、三国総合支所周辺
また、当日は会場周辺の道路が一部通行止めとなりますので、ご協力をお願いします。



営農家の皆さんへ
研修会を開催します

NPO法人アグリコミュニケーション理事長・富田きよむ氏による、研修会を開催します。
参加は無料、当日会場にお越しください。
■「物売ることは、自分を見極める事」
値段のつけ方など、実際に役立つ農家のためのマーケティング方法を学びます。
と き 1月14日(木)19:00～
■「農家のマーケティングと情報発信」
今すぐ使える情報発信のノウハウを学びます。デジタルカメラでの撮影、編集の仕方などを学ぶ実践的な研修会です。
と き 1月15日(金) 9:30～16:00
ところ 坂井北部丘陵地農業団地センター (あわら市二面1-10)
※両研修会とも
問 坂井北部丘陵地営農推進協議会 ☎78-6363

リサイクル

recycle information

ゆずります
食器洗い機、ジュニアシート、プラスチック製犬小屋(50cm×50cm×50cm)、学習机、学習机(女子用)、洋服だんす(中桐、180cm×120cm)、和だんす(中桐、180cm×120cm)、整理だんす(中桐、180cm×120cm)、冷蔵庫、木製学習机と椅子(中、高校生用)、五月人形
ゆずってください
レコード(レコード盤なら何でもよい)、電気蓄音機(蓄音機とラジオが兼用になっているもの)、ぜんまい式蓄音機、二段ベッド、丸ノコ、インパクトドリル、糸ノコ盤、スライド丸ノコ、電動ろくろ(陶芸用)、大人用自転車、大人用自転車(24cm以上)、大人用自転車(24～26cm)、大人用自転車(男性用)、大人用自転車(24cm、男性用)、圧力鍋、子供用自転車(4歳男子用)、着付け用ボディ、大型冷蔵庫、大人用車いす、チャイルドシート(乳幼児用)、ベビーカー、ジュニアシート(1歳からのもの)、中ざおの三味線(どんな状態のものでも可)、DVDプレイヤー、CDプレイヤー、衣装ケース、韓流ビデオ、130cm以上の女子用冬コート、着物の古着(絹、麻、木綿)、布団や着物の布地(古いもの)、電気こたつ(75cm×75cm)、洗濯機、電子ピアノ、パソコン(デスクトップ・ノート、壊れていても可)

申込方法 電話で下記まで
※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は6カ月
問 市民生活課 ☎50-3030

食卓に
もう一品!

食生活改善推進員の
かんたん料理レシピ

ひじきのサラダ

三国地区食生活改善推進員
栄養成分/1人分
エネルギー 90kcal
タンパク質 8.8g
カルシウム 180mg
脂質 6.8g
塩分 0.7g
材料/4人分
ひじき(乾燥) 20g
サクラエビ 20g
水菜 1束
マヨネーズ 大さじ2
ヨーグルト 大さじ1
練りからし 小さじ1
しょうゆ 大さじ1
ミニトマト 5個

作り方 ① ひじきは洗って水で戻し、軟らかくなるまでゆでる。
② 水菜の茎は2cm、葉先は4cmに切る。
③ ボールにマヨネーズ、ヨーグルト、しょうゆ、練りからしを混ぜ合わせ、ひじき、水菜の茎、サクラエビを加えてあえる。
④ 器に水菜の葉先を敷いて、③を盛りつけ、ミニトマトを飾る。

カルシウム、足りていますか?
バランスのとれた食事をしているつもりでも、知らず知らずのうちに不足してしまうのが、カルシウムです。今回は副菜にカルシウムを多く含むひじきやサクラエビを使いましたが、これだけではまだ足りません。
小魚や海藻、大豆製品などを毎日の食事に取り入れ、積極的にカルシウムを取りましょう。牛乳や乳製品を加えるのも効果的です。
問 健康長寿課 ☎50-3040

お知らせ

information

22年度償却資産を
申告してください

償却資産(土地、家屋以外の事業用資産)を所有する法人または個人事業者は、22年1月1日現在の所有状況を市に申告してください。

種別	償却資産の種類	構築物、機械および装置、船舶、航空機、車両および運搬具、工具・器具および備品
申告内容	【前年度に申告している場合】 21年1月2日から22年1月1日までの間の増減資産を申告 【新規に申告する場合】 22年1月1日現在で所有の全資産を申告	
提出先	2月1日(月)までに、下記または各総合支所税務課に提出してください。郵送でも受け付けています。	

※郵送の場合は、早めの提出をお願いします

問 課税課 ☎50-3023
〒919-0592坂井町下新庄1-1

建物滅失届の
提出はお忘れなく

21年中に、建物(車庫や物置も含む)を取り壊した人は、滅失届を提出してください。

また、店舗を住宅に変えたなど、家屋の用途変更を行った場合も届け出てください。

提出先 課税課または各総合支所税務課

問 課税課 ☎50-3023

宝くじ助成で
防災資機材を整備

下兵庫自治会防災会が、(財)自治総合センターのコミュニティ助成で、防災資機材を整備しました。



購入した防災資機材

問 総務課 ☎50-3010

農業委員会委員選挙人名簿
記載申請書の提出を

農業委員の選挙人名簿は、毎年1月1日現在で作成されます。

選挙権を有する人は、22年1月1日現在の状況で記載申請書の記載内容を確認し、申請してください。

申請期限 1月8日(金)

申請先 市農業委員会事務局
(坂井健康センター2階)

選挙権を有する人	市内に住所があり、満20歳以上(平成2年4月1日以前に生まれた人)で、次のいずれかの要件に該当する人 ①農地10a以上の耕作を営む人(経営主) ②①の同居の親族または配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している人 ③10a以上の面積の農地で、耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員(その耕作の業務に年間おおむね60日以上従事している人)
----------	--

問 市農業委員会事務局 ☎50-3151
または市選挙管理委員会 ☎50-3015

雪のルールやマナーを
確認してください

冬を快適に過ごすために、以下の点に注意し、雪対策に協力をお願いします。

- ・路上駐車は除雪の妨げになるので、絶対にやめましょう
- ・除排雪された道路への雪の投げ捨てはやめましょう
- ・車の上に積もった雪は、しっかりと取り除いてから運転しましょう
- ・生活道路、歩道、バス停付近や防火水槽、用水路付近の除排雪に協力をお願いします

問 建設課 ☎50-3051

油流出による
水質事故をなくしましょう

河川への油の流出事故が多発しています。河川が汚染されると、魚をはじめとする水生生物に影響を及ぼすほか、農業や工業、水道など河川を利用するたくさんの人に迷惑がかかります。

水質事故防止のため、次のことに注意しましょう。

- ・油を側溝、水路、河川に捨てない
- ・燃料の給油中はその場を離れない
- ・燃料機器や配管などの点検を定期的に行う

流出した油の回収、処理作業には多額の費用がかかります。その費用は原因者の負担となります。

また、万が一油が側溝や水路に流出した場合、早期対応が重要です。速やかに関係機関にご連絡ください。

問 環境衛生課 ☎50-3032
坂井健康福祉センター ☎73-0601
三国土木事務所 ☎82-1111
またはお近くの消防署、警察署まで

特定疾患治療研究事業
11疾患が新たに追加

症例が少なく、原因不明のため治療法が確立していない難病のうち、医療費の助成対象となる疾患がこれまでの45疾患から56疾患に拡充されました。

今回新たに追加された11疾患は、以下のとおりです。

分類	疾患名
代謝系疾患	家族性高コレステロール(ホモ接合体)
神経・筋疾患	脊髄性筋萎縮症
神経・筋疾患	球脊髄性筋萎縮症
神経・筋疾患	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
循環器系疾患	肥大型心筋症
循環器系疾患	拘束型心筋症
循環器系疾患	ミトコンドリア病
呼吸器系疾患	リンパ脈管筋腫症(LAM)
皮膚・結合組織疾患	重症多形滲出性紅斑(急性期)
骨・関節系疾患	黄色靭帯骨化症
内分泌系疾患	間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)

■認定期間について

認定期間は原則として健康福祉センターが申請書類を受理した日から翌年の9月30日までとなります。

ただし、申請受理日以前に認定基準を満たすことが確認できた人は、本年12月31日(当日消印有効)までに申請した場合に限り、さかのぼって認定を行います。

手続きや申請書類など詳しくは下記まで。

問 坂井健康福祉センター ☎73-0600

2月15日までは狩猟期間
野山に入る際は気をつけて

野山に入る際は、目立つ色の服装を心掛け、鈴などで音を鳴らしながら行動してください。

また、動物用のわなは危険です。絶対に近づかないでください。

問 県自然環境課 ☎20-0306

えちぜん鉄道太郎丸駅
無料駐車場を新設

56台分を新設。買い物や通勤にぜひご利用ください。



問 えちぜん鉄道お客様相談室 ☎0120-840-508

プレジャーボート
運航者の皆さんへ

連絡が取れない状況で遭難した場合、早期発見には家族や友人が頼りです。

- ・友人や家族へ行き先、船名、同乗者、帰港時間を必ず連絡しておきましょう
- ・航海中も連絡を取り合いましょう

大切な命を守るために、

- ・クーラーボックス、釣り竿、バケツなどに名前と連絡先を書いておきましょう
- ・携帯電話の防水措置を忘れずに
- ・常にライフジャケットを着用しましょう

問 福井海上保安庁 ☎82-4999
海のもしものは「118番」

3月分の
体育施設利用抽選会

丸岡町内体育施設
3月分抽選会
と き 1月12日(火)
※詳しい時間は右表

利用施設	利用時間	対象施設名	参加資格	抽選時間	抽選会場
丸岡町内体育施設	日中 (19:00までの利用)	丸岡屋内球技練習場	登録団体	18:00~	丸岡体育館 ☎66-8920
		越前丸岡古城ドーム	登録団体 登録団体以外 (個人を含む)	18:00~ 19:00	
	夜間 (19:00からの利用)	抽選対象施設(詳しくはホームページ、または電話で問い合わせてください)		19:30~	

※平成21年9月に行った、三国・春江・坂井町内体育施設11月~3月分抽選会に参加した団体は、今回の抽選会には参加できません。
※三国・春江・坂井町内体育施設の11月~3月の抽選会は終了しました。施設利用の申し込みは一般予約をお願いします。

3月分の一般予約

2月1日(月)9:00から受け付けを開始します。
※一般予約は従来どおり、次月分の予約のみ受け付けます

④7月1日から坂井町内体育施設の問い合わせ先が、坂井武道館(☎67-0610)から坂井体育館(☎68-0123)へ変更となりました。

一般予約の受付場所および施設の問い合わせ先		そのほかの問い合わせ先
三国町内体育施設	全施設	三国体育館(4月1日より) ☎82-4686
春江町内体育施設	全施設	春江体育館 ☎51-4242
坂井町内体育施設	全施設	坂井体育館 ☎68-0123
丸岡町内体育施設	丸岡運動公園内施設	越前丸岡古城ドーム ☎68-0390
	今福体育館・武道館・丸岡中学校ナイター	今福体育館 ☎66-4500
	丸岡スポーツランド内施設 その他の施設	丸岡スポーツランド ☎67-4040 丸岡体育館 ☎66-8920

お知らせ

みくに図書館、はるえ図書館、さかい図書館
 12月28日(月)~1月4日(月)まで休館します。
まるおか図書館
 12月29日(火)~1月4日(月)まで休館します。
 ※1月4日(月)は図書館整理日のため全館休館します
 ・本の返し忘れはありませんか?
 図書館が休館の場合は、返却ポストをご利用ください。

みんなの本棚

みくに図書館
 ai♡ai♡おはなし会 1月9日(土)11:00~
 紙芝居とお話し会(サークル赤ずきん) 1月16日(土)11:00~
 おはなし会 1月23日(土)11:00~
まるおか図書館
 おはなしの森 1月9日(土)11:00~
 おはなしエプロン 1月16日(土)11:00~
 わくわくおはなし会 1月23日(土)11:00~
 おはなしクレヨン 1月30日(土)11:00~

定期イベント

はるえ図書館
 まじょさんのおはなし会 1月9日(土)11:00~
 おはなし会 1月17日(日)11:00~
 おはなしでこい~あいうえお話し会~ 1月23日(土)11:00~
さかい図書館
 坂井町読み聞かせの会 1月9日(土)11:00~
 としょかんおはなし会 1月16日(土)11:00~
 おはなし♪どんぶらっこ♪ 1月23日(土)11:00~
 としょかんおはなし会 1月30日(土)11:00~
 ※詳しくは各図書館まで

INFO

EVENT

新着&オススメ図書

※4館どこでも借りられますので、お問い合わせください。

一般書

手づくりする木のカタラーリ 西川 栄明
 戦場の掟 スティーヴ・ファイナル
 もっと“シンプル”に生きるための10日間レッスン シェリー・カーター=スコット
 美智子さまのお着物 木村 孝/文
 悪玉コレステロールを下げ、善玉コレステロールを上げる本 石川俊次/監修
 ドキュメント昭和が終わった日 佐野 真一
 絵本「からすのパンやさん」のパンをつくらう! 文化出版局 編
 成功は一日で捨て去れ 柳井 正
 男子家事 阿部絢子/監修
 評価が9割アップする第一印象のルール 和 真音
 レモンタルト 長野 まゆみ
 未踏峰 笹本 稜平
 小太郎の左腕 和田 竜
 いかずち切り 山本 一力
 聖徳太子の密使 平岩 弓枝
 まほろ駅前番外地 三浦 しをん
 夜の終焉 上下 瞬一
 木練柿 あさの あつこ
 誰かと暮らすということ 伊藤 たかみ

児童書

おふとんかけたら かがくい ひろし
 ともだちキリン ねじめ 正一
 おたすけこびとのクリスマス なかがわちひろ/文
 水曜日の本屋さん シルヴィ・ネマン/文
 ドラゴンとあおいチョウのたび なか ようこ/文
 なぞなぞあそびえほん 角野 栄子/作

BOOK

お知らせ

みんなの本棚

定期イベント

子育て支援センターからの

お知らせ



子育て支援センターは、子育てしている人が気軽に遊びに来たり、おしゃべりしたりできる、集いの広場です。

子育てで悩んだりしている奮闘中の皆さん、ちょっと息抜きをしてみませんか。私たちスタッフが、子育てが楽しいものになるよう、お手伝いします。

子育てマイスター講座のお知らせ

お楽しみ新年会

とてもおもしろい手品をします。親子でじっくり楽しんでください。

講師 子育てマイスター 岡田 喜美子さん

とき	ところ
1月 8日(金)10:00~11:00	春江子育て支援センター
1月12日(火)10:00~11:00	三国子育て支援センター
1月13日(水)10:00~11:00	丸岡子育て支援センター
1月14日(木)10:00~11:00	坂井子育て支援センター

支援センター利用のご案内

支援センター名	センターの利用時間	相談時間
三国丸岡春江坂井	9:00~15:00 (月~金曜日)	8:30~17:15 (月~金曜日)

保健師・栄養士の相談日

とき	ところ
1月14日(木)10:30~11:30	三国子育て支援センター
1月22日(金)10:30~11:30	春江みどり保育園
1月22日(金)10:30~11:30	坂井子育て支援センター
1月26日(火)10:30~11:30	丸岡子育て支援センター

問い合わせ先

三国子育て支援センター ☎81-6550
 丸岡子育て支援センター ☎67-4157
 春江子育て支援センター ☎51-9644
 (春江北保育所内)
 坂井子育て支援センター ☎68-4188

※詳しくは各支援センターへお問い合わせください

健康アドバイス

健康的なお酒の飲み方



●適量を守り、自分のペースで
 「二気飲み」や「駆けつけ3杯」は、肝臓でのアルコールの分解が追いつかず悪酔いしやすいので、自分のペースで飲むことが大切です。

●食べながら飲み、栄養バランスも考えて
 食べながら飲むことで胃腸の粘膜が保護され、アルコールの吸収が穏やかになります。また、良質のたんぱく質は肝臓の働きを助けます。枝豆や豆腐、魚介類、野菜類を取るようしましょう。

●悪酔い・二日酔いにならないため
 予防の第一歩として「すきっ腹で飲まないこと」です。空腹の状態ではアルコールの吸収が早くなり、悪酔いや二日酔いを起こしやすくなります。もしなつてしまった場合は、水分を十分にとりましょう。

●休肝日をつくり、年に1度は健康診断を
 週に2日はお酒を飲まない日をつくり、肝臓を休ませましょう。また、健康診断のときに特に注意しておきたいのが、γ-GTPという数値。この数値が高い場合はお酒を控えましょう。

●悪酔い・二日酔いにならないため
 予防の第一歩として「すきっ腹で飲まないこと」です。空腹の状態ではアルコールの吸収が早くなり、悪酔いや二日酔いを起こしやすくなります。もしなつてしまった場合は、水分を十分にとりましょう。

●悪酔い・二日酔いにならないため
 予防の第一歩として「すきっ腹で飲まないこと」です。空腹の状態ではアルコールの吸収が早くなり、悪酔いや二日酔いを起こしやすくなります。もしなつてしまった場合は、水分を十分にとりましょう。

適正飲酒の10か条

- 1 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 2 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 3 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- 4 つくろうよ 週に2日は休肝日
- 5 やめようよ きりなく長い飲み続け
- 6 許さない 他人への無理強い・一気飲み
- 7 アルコール 薬と一緒に危険です
- 8 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10 肝臓など 定期検査を忘れずに

(社)アルコール健康医学協会

健康カレンダー

1月のご案内

乳・子宮がん検診

事前に申し込みが必要です。詳しくは健康カレンダーをご覧ください。

とき 1月31日(日)受付9:00~10:00
 ところ さかい健康センター

マミー教室(妊婦教室)【予約制】

妊娠5カ月以降のお母さんとその家族が対象です。希望する人は電話でお申し込みください。(託児あり)

とき 1月24日(日)受付10:00~
 ところ 三国保健センター(三国総合支所2階)

集団接種【ポリオ投与】

生後3カ月以上7歳6カ月未満で、接種が終了していない人が対象です。

とき	ところ	受付時間
1月26日(火)	春江保健センター	13:30~14:30

健康づくりグループ活動

市では、健康づくりのため、自主グループ活動を応援しています。会員は随時募集。詳しくは、健康長寿課まで。

グループ活動の日程		
さわやか教室	とき	1月6.13.20.27日(水) 13:30~14:30
	ところ	三国体育館
ウォーキングクラブ	とき	1月15.22.29日(金) 9:30~11:00
	ところ	春江保健センター
はつらつミセスの会	とき	1月5日(火) 9:30~11:00
	ところ	坂井健康センター
健康体操の会	とき	1月6.13.20.27日(水) 13:30~15:00
	ところ	坂井健康センター
るんるんダンベルの会	とき	1月18.25日(月) 9:30~11:00
	ところ	坂井健康センター※内容によって場所の変更あり
筋力アップの会	とき	1月7.21日(木) 10:00~11:00
	ところ	坂井健康センター

問い合わせ先 健康長寿課(坂井健康センター内) ☎50-3040 ☎50-3067



「みんなの掲示板」
「今月のハッピーバースデー」掲載希望者を募集
締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希
望者多数の場合は、掲載できない場合があります。
詳しくは秘書広報課まで。
☎秘書広報課 ☎50-3012

市の
すがた

11月1日現在
※()内は前月比、前年比

人口 **94,974**人(- 21、-253人)
男 46,091人(- 13、-144人)
女 48,883人(- 8、-109人)
世帯数 29,440戸(+ 30、- 31戸)

【今月の表紙】●旬、到来



モウモウと立ち込める湯気。大きなゆで釜から取り出されたズワイガニは、つやと赤みを帯び、その重量感とともに「冬の味覚の王様」を主張する。シーズンが到来し活気付く港町には、ふんわり塩の香りが漂っていた。
(三国町宿にて)

名 前	年 齢	行 政 区	名 前	年 齢	行 政 区
三国町			春江町		
出倉 コハナ	89	安島	上野 キクノ	90	金剛寺
渡邊 久信	87	運動公園	菴 三津子	64	江留上錦
田谷 昭一	82	上錦	木下 尚美	76	大牧
野崎 禮三	86	川崎	黒川 孝登美	76	江留下屋敷
近藤 シスエ	83	下錦	小林 章	89	西太郎丸
井端 修	60	玉江	岡崎 馨	89	江留上新町
渡邊 福子	71	下錦	上島 外由	77	正蓮花
山田 智之	50	浜滝谷	中嶋 武四	80	松木
石丸 喜代子	87	岩崎	平田 雅章	85	針原東
八木 太秋	81	運動公園	笹木 静	98	定重
山農 長男	87	森町	末政 志づか	93	辻
古木 信治	84	新保	高岡 富治	84	大牧
橋詰 美代子	91	上錦	南嶋 由美子	76	布施田新
村上 利一	75	ポータウン	嶋崎 一志	83	寄安
			吉田 いさを	98	中筋
			加藤 明見	75	江留上中央
			窪田 藤子	85	藤鷲塚

名 前	年 齢	行 政 区	名 前	年 齢	行 政 区
丸岡町			坂井町		
細道 文子	85	田町	田端 利男	74	新福島
大崎 サダ子	98	舟寄5区	宗京 求	83	東荒井
白崎 千恵子	79	小黒	三田村 敬美	65	北宮領
中津 ヒデ子	85	霞ヶ丘1区	小林 きよ子	94	清 永
石崎 悦子	62	北横地4区	中出 信子	87	上兵庫
杉田 信一	94	坪ノ内	辻新 信一	91	御油田
大崎 美八枝	62	北横地2区	平田 千代子	78	清 永
前川 トシコ	93	上安田			
西 ゆき美	57	磯部福庄			
北 シゲヲ	90	田屋			

名前は全て人名漢字及び常用漢字で表記しています。

ユリウム直売市
感謝祭を開催します

と き 12月26日(土)、27日(日)
9:00~16:00

ところ ユリウム春江
内 容

26日(土)11:00~
餅つき、きな粉餅振る舞い
27日(日)9:00~
葉牡丹プレゼント(先着100人)
10:00~
ゴスペルミニコンサート
フォーク演奏
11:00~
大鍋振る舞い(先着200人)
26、27日両日
・地元野菜、正月用生花販売
・ユリ球根、鉢植え販売
・ちびっ子絵画展 など

☎ユリウム春江 ☎58-0100

高齢者の皆さんへ
パソコンを始めませんか

1クラス3~5人の少人数講座です。詳しくは下記まで。

講座内容	ワード初級(3カ月:12回)
	エクセル初級(3カ月:12回)
	インターネットとメール(3カ月:12回)

と き 毎週日・月・火・水・木曜日
昼と夜の2コース

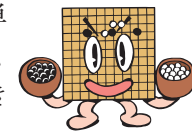
ところ ジー・アイ・カルチャー
(坂井町宮領58-20)

受講料 5,000円/月
※教材費約1,500円が別途必要

☎ジー・アイ・カルチャー
☎68-1101

文化庁・日本棋院主催
みんなで学ぶ
楽しい囲碁入門教室

囲碁は簡単ですが奥深い、誰にでもできるゲームです。



プロ棋士が分かりやすく囲碁の楽しさを教えます。ぜひご参加ください。

と き	と ころ
12月27日(日) 13:00~17:00	東十郷公民館
1月31日(日) 13:00~17:00	ハートピア春江
2月14日(日) 13:00~17:00	霞の郷
3月14日(日) 13:00~17:00	あわら市 中央公民館

講 師 日本棋院所属プロ棋士
西條 雅孝九段
水野 芳香三段

参加料 無料
対 象 幼・小・中・高校生とその保護者など
※家族や友達同士、地域住民も参加可

定 員 40人
申込方法 下記まで
☎坂井地区囲碁連盟
鈴木 ☎090-3292-5599

受講料無料
着付けを始めませんか

大人用の着物を子供でも着られる着付け方法を教えます。また、着物をお貸ししますので、着物を持っていない人でも受講できます。

と き 毎週火曜日
13:00~15:00

ところ 大関公民館
☎中山 ☎090-2037-3717

パソコン入門講座
受講生を募集

短期間の集中講座で基礎をマスターしましょう。

■ワード基礎
と き 2月2日(火)・4日(木)・9日(火)・11日(木)の
13:00~16:00

■エクセル基礎
と き 2月16日(火)・18日(木)・23日(火)・25日(木)の
13:00~16:00

ところ 高椋公民館
受講料 4,500円(12時間)
※資料代を含む

定 員 各20人
申込方法 両講座の開始3日前までにはがきかFAXで
下記まで

☎NPO法人いきいきITクラブ
道見 ☎66-0876 ☎67-8385
〒910-0246丸岡町西瓜屋10-25

段ボール新聞雑誌
持込、引取OK
0776-43-3688
清水紙料(株)
坂井市坂井町長畑16-10

お仏壇のお洗濯
70代(3尺間用) 7万円~
200代(6尺間用) 15万円~
施行前 ⇄ 施行後 仏壇専用12V配線を含みます
(株)サワザキ佛壇店 ☎66-6560
坂井市丸岡町高柳2-16(国道8号・Y & Yゴルフ隣)

お歳暮、贈り物
ご予約承ります。
本物を、召し上がれ!!
東尋坊で唯一の魚屋、やまに水産は、かに料理の専門店です。三國港直送の新鮮な魚類が、すくすく選んでいただきます。
東尋坊 皇室献上がに 宮内庁御用達
やまに水産
坂井市三国町東尋坊
TEL:81-3420 FAX:822-6207
年末年始も休まず営業しています。

車いすで、お出かけしませんか!
福井県タクシー協会会員
丸岡介護タクシー
☎丸岡本部 丸岡町八ヶ郷(石上)27-5
代表 前田 昌広
TEL. 66-0145
☎坂井町連絡所 坂井町木部東15-41
所長 高野 俊春
TEL. 72-1702

「ふれんず」は坂井チャンネル29でもご覧いただけます！
 今回の内容は、12/15(火)～1/14(木)まで放送します。
 お楽しみに！ ☎ 秘書広報課 ☎50-3012

思いをのせて 届け！私たちの歌



コンサートに向け、練習を重ねるメンバー

冬

の澄んだ空気のような、透き通った歌声がホール

に響き渡る。無垢な子供たちが響かせるハーモニーは、聞く者すべての心を和ませる。温もりのある歌声を届けるグループ、それが「ヴォーチェピアンカまるおか」だ。

同グループは、丸岡町唯一の青少年合唱団として平成7年に発足。今ではメンバーの枠も広がり、市外からも参加者が集う。

西出佳歩さん（磯部小6年）は「友達に誘われて入ったけれど、みんなで歌うのはすごく楽しい。もっと練習して、先生のように高く大きな声が出せるようになりたい」と目標を語る。

最近始めたという前川芽生さん（長畝小3年）は「自分たちの歌を友達に聞いてもらって、歌う楽しさを伝えたい。そして一緒に歌えるようになったら」と、発表の場を心待ちにする。歌唱を指導する中田久美さんは「歌を通して達成感や感動を経験し、心豊かな

人になってくれれば」と、成長を願いながら指導にあたってている。

現在は公民館でのクリスマスコンサートに向け練習中の子供たち。大好きな歌だから、何時間もの練習も苦にしない。歌を心から愛する天使たちだ。

ヴォーチェピアンカ まるおか



メンバー 13人
 代表 中田 久美さん
 (丸岡町磯部福庄)

コメント
 「メンバーを募集中。毎月第1・2・4土曜日の10時から11時30分まで、磯部公民館で練習を行っています。歌が好きな人、一緒に歌いませんか」

連絡先 ☎090-2125-3418
 または磯部公民館 ☎66-7430

純な旅



一人一人違うよ。心の色って、綺麗な色が見えて、ほかに色があるかもしれない。自分の色を隠したくない。けれど、自分の色を輝かせればいいのさ。

(龍ヶ鼻ダムにて)

編集後記

▼先日の推進大会で、市は環境都市を宣言。良好な生活環境の創出のため、自分はず何をするべきか——答えは、環境破壊が深刻な自分の部屋の掃除。身近なところから始めてみます。保全の努力も忘れずに。(杉)
 ▼夫に1?年前の教え子から同窓会の案内が届き、一緒に当時のアルバムを開きました。まだあどけない「市職員」に思わず目を疑った矢先(杉)そっくりな「杉」兄を発見。相方との歳の差を目の当たりにした瞬間でした。(純)

平成21年12月10日

発行 坂井市 編集 秘書広報課

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
 TEL 0776-66-1500 FAX 0776-66-4837
 URL http://www.city.fukui-sakai.jp/
 E-mail kouhou@city.fukui-sakai.jp